

# ちよふ市議会だより

令和4年(2022年)8月5日(金) 第250号  
年4回発行(2月・5月・8月・11月の5日)

日付	内容
6月2日(木)	○市長報告 ○議案上程(議決) ○議案上程(委員会付託) 休憩中 委員会
6月6日(月)	○議案上程(議決) ○議案上程(委員会付託) ○陳情上程(委員会付託)
6月7日(火)	○一般質問(6人)
6月8日(水)	○一般質問(6人)
6月10日(金)	○一般質問(2人)
6月13日(月)	常任委員会
6月14日(火)	調布飛行場等対策特別委員会 議会運営委員会
6月17日(金)	本会議 ○議案上程(議決) ○陳情上程(議決) ○諸報告

調布市ホームページ <https://www.city.chofu.tokyo.jp>



市議会HP  
二次元コード

掲載内容：令和4年第2回定例会を中心に掲載



車いすバスケットボールChofuエキシビジョンマッチ in むさプラでの体験会

## 第2回定例会 市長提出議案12件を承認・可決 調布っ子応援プロジェクト第5弾 子育て家庭への生活支援事業などの補正予算を可決

○一般質問の要旨	・・・2～5
○全員協議会を開催	・・・4
○令和3年度政務活動費 収支報告	
○調布飛行場等対策特別委員会の審査状況	・・・5
○案件に対する議員の態度	
○佐藤 堯彦氏当選	
○編集後記	・・・6

発行 調布市議会  
東京都調布市小島町2-35-1  
議会事務局  
☎042-481-7291 ☎042-481-5119  
✉gikai@w2.city.chofu.tokyo.jp

よりよい市議会だよりを目指して  
皆様の声をお聞かせください  
紙面のレイアウトや内容などに関する御意見がありましたら、議会事務局までお寄せください。紙面づくりの参考にさせていただきます。

### 令和4年度一般会計補正予算 (第1号)・(第2号)の主な内容

今定例会では、新型コロナウイルス感染症対応の取組に係る2つの補正予算を審議し、両補正予算とも可決しました。

今回の補正により、歳入歳出それぞれ約13億8千500万円(第1号は約6億3千100万円、第2号は約7億5千400万円)を増額し、令和4年度歳入歳出予算額は約96億5千万円となりました。補正予算の主な内容は次のとおりです。

**一般会計補正予算(第1号)**

- 子育て世帯生活支援特別給付金の支給 約1億8千400万円
- 児童扶養手当受給世帯、ふたり親の非課税世帯等へ児童1人につき5万円の給付
- 非課税世帯等臨時特別給付金

**一般会計補正予算(第2号)**

- 地域経済への支援 3億円
- キャッシュレス決済ポイント
- ワクチン接種事業費の増額
- 還元事業
- 市民生活及び子どもたちへの支援 約2億2千400万円
- 調布っ子応援プロジェクト(第5弾)「子育て家庭への生活支援事業」
- 子育て世帯生活支援特別給付金(市独自)の支給など
- 新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金の支給
- 感染症拡大防止に向けた取組 2億3千万円

**第15回議会報告会**  
～議会中継ページにてオンライン配信中～

第15回議会報告会は、令和4年5月25日から議会中継ページにてオンラインで配信(手話通訳つき)しています。ぜひご覧ください。

今後も引き続き、市民の皆様へ市議会の活動を身近に感じていただけるよう、分かりやすい議会報告会の開催を目指してまいります。

——— 主なプログラム ———

- ◇議長報告(令和4年度予算概要など)
- ◇3月議会の報告
  - 総務委員会
  - 文教委員会
  - 厚生委員会
  - 建設委員会

議会報告会のオンライン配信 視聴方法

【調布市HP→市議会→議会中継→議会中継ページ→令和4年議会報告会の順に進む】  
(右記二次元コードからアクセス可)

調布市ホームページで、本会議や委員会などのインターネット中継(生中継・録画)をご覧ください。また、今号に掲載している本会議・委員会の会議録は、8月末ごろにホームページなどで公開予定です。

古紙パルプを配合した紙を使用しています



# 一般質問の要旨



一般質問とは、議員が市長などに対し、行政全般にわたる事務の執行状況や将来の方針等を確認するものです。

第2回定例会では、14人の議員が一般質問を行いました。

なお、※印の用語は3面に解説を掲載しています。スマートフォンなどをお持ちの方は、タイトル内の二次元コードを専用アプリで読み取ると、それぞれの録画映像がご覧いただけます。

## 障害のある子をもつ家庭が安心して暮らせる施策を急げ



平野 充(公明党)

**問** 親が高齢となり子の世話ができなくなつて住み慣れた地域で、これまで携わつてくれた人の近くで過ごせないケースが見られる。日中サービス支援型のグループホームが必要。高齢障害者を支える先進的な日中支援事業への取組を求める。見解は。

**福祉参事** 次期障害者総合計画において、計画的な事業推進が必要。障害福祉施策と高齢福祉施策で連携し支援を行う。

**問** 高校3年までの医療費無償化は都が初めの3年間全額補助以降の必要財源と実施の意向は。

**市長** 財源の協議は継続し、5年度当初からの実施準備を進める。

**問** 子どもの医療費や教育は親の収入で差別すべきではない。医療や他の給付でも所得制限で対象から外れることは問題。市として子どもの医療費助成の所得制限や通院費への考えを伺う。

**子生部長** 都内全ての子どもが平等に医療サービスを受けられるよう、所得制限撤廃を都に要望。制度拡充には市として新たな財政負担を伴う。継続的な制度運用の確保などに留意し検討。

**問** 災害時協力井戸について①



## PTA業務の負担・新しい総合福祉センターについて



阿部 草太(次世代・調布)

**問** 小・中学校の保護者において共働世帯が増えていると考えるが、PTA業務が保護者の就労にどのような影響を与えていると認識しているのか。

**教育部長** 各校のPTAの運用状況により異なるものの、アプリ等を活用し工夫している事例も把握。保護者の負担軽減のための取組が行われていると認識。

**問** PTA運営の改革を行っているPTAに対して、市として支援を行うことが子育てしやすい環境を作る一助となると考える。市の考えは。

**教育部長** 研修会などの活動に対して補助金を交付し支援。今後も様々な活動を主体的に行つてもらいたいと考えている。

**問** 京王多摩川駅周辺へ移転後の総合福祉センターがどのように地域に開かれた福祉の拠点となり地域共生社会を実現するか。

**市長** 市民が気軽に立ち寄れる場を確保し、多世代・多様な主体が交流する機会創出を目指す。

**福祉参事** 施設出入口付近に交流ゾーンの設定、福祉と医療の連携、住民主体の活動支援施策の展開など取組を推進。

**問** 現在の総合福祉センターから新しい総合福祉センターへのシャトルバスを検討していると認識。現状は。



防災マップ上に表記すべき②井戸提供者と市民との災害時ルールを決めるべき③水質検査や維持費等への行政配慮が必要。計画的に整備を進めるべき。

**危管部長** ①市内全小・中学校設置の防災井戸は記載している。災害時協力井戸の掲載含む周知方法を検討②使用方法などについて訓練や市HPを通じて周知を図る③年1回の水質検査実施継続的に周知し確保につなげる。



高齢化する障害者

## 病児保育事業の拡充とネーミングライツの導入について問う



古川 陽菜(次世代・調布)

**問** 病児保育の利用状況と課題について①コロナ禍以前の利用状況は②コロナ禍による受入れ体制の変化、コロナ禍の影響による利用状況の変化は③現在、どのような課題があると認識しているのか。

**子生部長** ①年間の受入れ可能延べ人数を母数とした利用率は、平成30年度が41.5%、元年度が42.5%②コロナ感染拡大防止の観点から衛生面や職員の体調管理を徹底。利用者が発熱、濃厚接触者の場合は利用できないなど通常とは一部異なる運用。2年度の登録人数と利用率は大幅減少。3年度は利用率が戻ったが、コロナ禍での利用控えが継続③インフルエンザ流行期等は利用者が集中し利用できない状況や、立地の課題があることを認識。

**問** 病児保育の受入れや立地について①年齢が満1歳に満たない月齢の子どもの受入れや、前日予約に空きがあれば、当日予約を受け入れることを検討しては②独自で病児保育を行う医療機関への連携依頼や既存の施設が近くにない地域への展開は。

**子生部長** ①利用状況や利用者のニーズを見極め今後の対応を検討、協議②実態把握を行うとともに立地の課題を踏まえ、施設と地域バランスを考慮し検討。



## 対話と情報公開の徹底で市民と信頼関係の構築を



木下 安子(生活者ネットワーク)

**問** 市には、陥没事故の被害者として事業者と対峙する立場と、事業協力者の立場があり、職員の対応次第で事業者の方を向いているとの疑念につながる。住民対応における基本姿勢を問う。

**市長** 市の最優先事項は陥没箇所周辺における安全・安心の確保と不安払拭であると認識。困難に直面されている住民に最後まで寄り添った対応を継続。

**問** 被害住民団体は、協力体制で市に対応を求めているが、市は団体に対し否定的な受け止めがあったのではないか。団体の趣旨への正確な理解を。見解は。

**都整参事** 地域住民からの問合せは、個人や団体の区別なく対応。事故対応は事業者の責務であるが、依然として不安を拭いていないと認識。不安払拭に向け、取組を継続する。

**問** 住民団体・事業者・市の協議の場の設定や振動が起きた全域での透明性ある地盤調査、複数部署の連携による取組強化を。

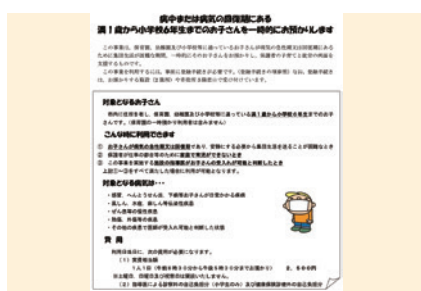
**都整参事** 住民と意見交換の場を持ち、意見が反映される取組を求めている。個別事情に応じた対応の中で、組織横断的連携を図り、市の取組を継続する。

**問** 市長が初就任したときに描いた市民参画推進のビジョンは、職員や市民と共有し実現したか。



**問** 将来、市税収入は減少することが予測されており、公共施設の安定した維持管理を続けるために積極的に財源を確保する手法が必要。ネーミングライツの導入について①期待できる効果は②導入するに当たっての課題は。

**行経部長** ①財源確保や民間ノウハウ活用による施設の魅力向上②企業メリット創出、度重なる名称変更に伴う市民の混乱。



市の病児・病後児保育のチラシ



市の市民参加に関する資料





須山 妙子(公明党)

困難を抱える子ども若者支援・女性職員活躍・妊婦健診を問う

女性職員活躍・妊婦健診を問う

問 家族の介護や世話を日常的に行う18歳未満の子、ヤングケアラーについて①支援の第一歩として実態調査実施を②ケアの対象は多様で関連部署も多岐... 子生部長 ①教育・福祉部門と連携し、実態把握等した上で子どもたちへの調査を検討②コ...

今後のこのまちの未来ビジョンをどのように示していくのか

井上 耕志(チャレンジ調布21)

問 多選批判をして平成14年に初当選した長友市長が6期目を目指すとの表明をした。どのような意見を受けた判断であったのか。 市長 多選に伴う懸念がある一方、理解や後押しする内容など様々な意見をいただいた。それらを総合的に勘案し決断。 問 多選に批判があるのは当然と主張。6選を表明され不明を恥じてまで実現したい政策とは。 市長 市民生活に大きな影響を及ぼしているコロナ対策、長年にわたる取組が大成を迎えるまちづくり、デジタル化への対応、脱炭素社会への貢献、災害

とは重要な課題。市の認識は。 市長 全庁的な重要課題として、女性職員の活躍推進と働き方改革に取り組み、多様な人材が活躍できる組織づくりを進める。 問 妊婦健診の助成は都外での出産や助産院の健診では立替え償還払いだが、立替え不要な自治体もある。市の今後の取組は。 福祉部長 近隣の取組状況など把握し、妊婦の負担が軽くなるよう助産所での取扱いを検討



厚生労働省HP「ヤングケアラーについて」

加齢性難聴者の補聴器購入に市独自の助成制度実施を

市独自の助成制度実施を



雨宮 幸男(日本共産党)

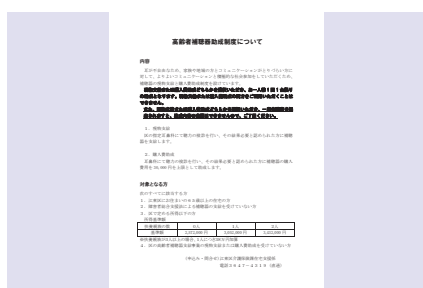
問 市内の加齢性難聴者の推移と難聴者全体に占める加齢性難聴者の構成比の推移は。 福祉参事 3年度末、聴覚障害による障害者手帳保持者の65歳以上は74%。増えていると認識。 問 都内における加齢性難聴者への補聴器購入費助成の現状は。 福祉参事 障害者総合支援法に基づき補装具費支給制度及び障害者手帳交付対象外の中等度難聴児への助成制度を除き、4年4月1日時点で15自治体を実施。 問 全都道府県での補聴器購入費助成制度の全国的な広がりについて。 福祉参事 自治体により対象や

学童クラブの早期増設と、児童館・学童クラブ職員の専門性の確保を

岸本 直子(日本共産党)

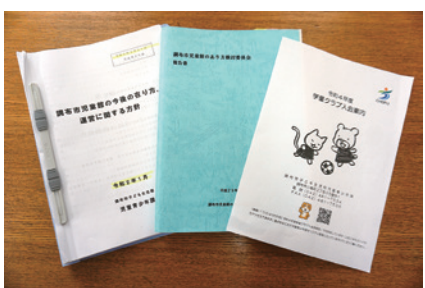
問 学童クラブは子どもを保育する児童福祉法に基づく生活の場であり、この基本を離さないことが大事。以前は条件を満たしても入会できない、入会しても遠く子ども通いにくい、1学童クラブ当たりの定員の問題があった。現在は40を超える学童クラブが設置されたが、これらの課題はクリアしたか。学童クラブ増設と残されている課題について市長の認識は。 市長 入会申請者の継続的な増加が見込まれ、大きな課題。地域の児童数を踏まえた整備を着実に進め、放課後子供教室事業、フオーとの連携を図るなど、

る研究の情報を収集し、調査研究をしている。 問 先天性、加齢性を含む中途難聴者の聞こえのバリアフリーを確立するために、市独自の補聴器への助成制度実施を求める見解は。 市長 御意見踏まえ支援策研究。 福祉参事 都の補助制度の更なる充実を要望するとともに、他自治体の取組も参考に、総合的な支援策の在り方を研究。



江東区のチラシ 高齢者補聴器助成制度について

問 子どもの育ちを助ける職員の質と専門性の確保を。 子生部長 各施設に配置の放課後児童支援員は、保育士や社会福祉士などの有資格者のほか、都が行う認定資格研修受講者で構成。質の高い育成支援が行える人材を確保するとともに、専門的な研修の実施やOJTなどを通じて能力向上に努めている。今後も質の高い児童の健全育成を推進していく。

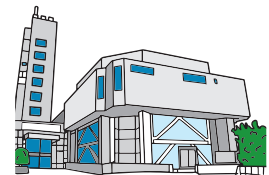


市児童館・学童クラブの運営に関する資料

用語の解説

「一般質問の要旨」の※印の用語解説です

災害時協力井戸 災害時に近隣住民の生活用水などを確保することを目的に、市内で井戸を保有されている方の協力により登録された井戸。 困難な問題を抱える女性への支援に関する法律 性的被害、家庭、地域社会との関係性など様々な事情で困難な問題を抱える女性の支援施策を推進し、女性が安心して自立して暮らせる社会の実現への寄与を目的とする。 6年4月施行予定。 不陸整正 平らでなく、凹凸がある状態を整えて均一なコンディションにすること。 Maas(マース) 地域住民や旅行者の移動ニーズに対応して、複数の公共交通などの移動サービスを最適に組み合わせることで、検索・予約・決済などを一括で行うサービス。観光や医療などの交通以外のサービスなどの連携により、移動の利便性向上や地域の課題解決にも資する重要な手段となるもの。 グリーンズローモビリティ 時速20km未満で公道を走行できる電動車を活用した小さな移動サービスで、その車両も含めた総称。導入により、地域が抱える様々な交通課題の解決や低炭素型交通の確立が期待できる。 超小型モビリティ 自動車よりコンパクトで小回りが利き、環境性能に優れ、地域の手軽な移動の足となる1人から2人乗り程度の車両。




●「年」及び「年度」については「令和」を表記していません。



### 学校施設の改善計画とミニバス北路線と地域巡回交通について問う

武藤 千里 (日本共産党)



**問** 築60年を超える第三中学校をはじめ築45年を超えているが大規模改修をしていない校舎が半数以上。市公共施設マネジメント計画では学校名を明らかに**教育長** 長期的な視点の下、多角的に検討し、個別施設の在り方などを計画に位置づけていく。**教育部長** 個別施設の今後の取組の方向は、今後の市基本構想と連動して計画に位置づける。

**問** 校庭の整備は年に1校のペース。実態調査し改善を。**教育部長** 地盤の水はけや使用頻度により必要に応じ対応。現地確認し計画的な整備を進める。


**問** ミニバス北路線大幅減便後、北部地域巡回交通の実証実験がはじまり、生活の足として頼りにされている。一方、地域で十分に認知されていない、バス停が分かりにくい、ミニバスの時より自宅から離れたバス停になり使えないという声が寄せられた。地域の声も含め丁寧に調査し、住民懇談会をプランチ調布や地域福祉センターなどで開催しては。

**都整部長** 説明会を開催するなど、継続的に地域要望の把握に努めている。利用していない方への聞き取り調査を実施し、新たな要望や課題を把握していく。

**問** バス運行の情報提供やバス

### 公共交通機関の安全、外環陥没事故と市民情報漏えいについて

坂内 淳 (日本共産党)



**問** 朝の通勤時間、西調布駅では上りホームに人がたまり白線ぎりぎり移動するケースが非常に増えている。人のたまるところに固定柵を設置している駅がある。市としてホーム上の安全についての認識と対策を問う。**都整参事** ホームドア、ホーム柵は全ての人の安全性の確保に有効。市は平成31年から経費の一部の補助制度を設けている。引き続き安全性向上への取組を京王電鉄に働きかける。


**問** 外環陥没・空洞事故とそれに伴う市民の情報漏えいは、外環3事業者へ送付したメールへの匿名の告発で発覚。情報公開

審査会の意見書は「当該電子メールはすでに削除されており、いつ、どのような内容で外部機関と連絡を行ったのか記録が残っていない」とある。個人情報保護審査会は個人情報を含む資料で確認できないものは外部提供したと仮定し審査。メール復元で事実確認できる可能性ある以上、市長の責任で当然行うべき。**市長** 市政に対する市民の信用を低下させたことを重く受け止めている。情報公開審査会及び個人情報保護審査会からの意見を踏まえ、必要な対策を徹底し、再発防止に取り組んでいく。

**総務部長** 審査会からの意見の

### 旧関東村サッカー場、スケートボード練習場等の整備・充実を

内藤美貴子 (公明党)



**問** D1・D2サッカー場の土ぼこりによる人体への影響等は放置できない。暫定としても劣悪な環境で子どもたちに使わせてよいのか。土壌改良・土留め板の補修等、安全・安心、快適に楽しめるよう早急な整備を。**市長** 年齢や障害の有無などにかかわらず、誰もがスポーツに親しみ、楽しめる環境を整備。**生文部長** 4年度中に土留め改修工事を完了予定。土ぼこり対策のほか不陸整正も対応が必要と認識。4年度策定の(仮称)公共施設マネジメント計画の検討にて計画的な改修に取り組む。

**問** 気兼ねなく練習できる環境

整備が必要なスケートボード練習場について①都は都立公園への整備方針を決定。都へ武蔵野の森公園内への整備の働きかけを②老朽化しているスポーツ施設改修のタイミングで、市有地に加え、都用地等の活用、民間活力の活用も含め市内に設置を。**生文部長** ①近隣市の事例参考に市内都立公園への設置を都に要望②生活環境に配慮した適地選定が課題。公有地の活用や民間活力の活用も含め多角的に検討


**問** 総合体育館の環境整備について①エアコンに係る光熱費が増えた分の財源確保を。今後も快適なスポーツ環境を守る取組



北部地域巡回公共交通の実証実験

### 夢のあるまちづくりについて

宮本 和実 (チャレンジ調布21)



**問** 建て替え後のグリーンホールはどのような音楽ホールをイメージしているか。**市長** 調布ゆかりの多彩な文化資源を最大限活かし、まちのシンボルとなる施設として整備。**生文部長** 質の高い芸術文化に触れられ市民利用可能なホール。高層化し最高の眺望を市民に楽しんでほしいが、可能性は。**行経部長** 民間事業者の意向を確認するとともに多角的に検討。

**問** 低コスト高クオリティなホールを建設するためには企業だけでなくマンション併設は一考の余地があると考えが見解は。**行経部長** ホール機能と業務・商業機能との複合化による整備を検討中。サウンドディング調査結果等勘案し考え方をまとめる。

**問** 総合福祉センターを併設する可能性はあるのかないのか。**行経部長** 併設は考えていない。線路跡地活用について、トリエ京王調布B館、C館側道を映画ゾーンとし、駐輪ゾーン・子ども公園ゾーンの3つに区分けすることを提案するが見解は。**都整部長** B館C館の南側道路は映画・映像関連企業等の意見を伺い、映画ゾーンへの誘導につながるようなしつらえを検討。

**問** 国領・布田間の線路跡地の側道は一方通行がよい。どのよ



朝の西調布駅の上り方面ホームの様子



旧関東村サッカー場 (D1・D2) (土のグラウンド)

### 全員協議会を開催 市政情報公開手続における個人情報不適切な取扱い等について

4月26日に市政情報公開手続における個人情報の不適切な取扱い等について報告を受けるために開催しました。

市からは、本事業の経緯や情報公開審査会及び個人情報保護審査会の意見書を踏まえた再発防止策について報告がありました。市長からは、本事業に対する謝罪と、必要な対策を徹底し再発防止に取り組む旨の発言がありました。

議員からの主な質疑・意見は次のとおりです。

両審査会の意見書に対する市長の受け止め/市職員が送付したメールに記載の「前回同様取扱い厳重注意」に関する両審査会でのやり取り/公務員としてあるべき姿がなおざりにされてきたことのおかしさではないか/百条委員会の設置を/個人情報保護を漏えいされた方の両審査会への出席、意見陳述がかなわなかったことの経過と理由/しっかりとしたチェック機能のシステム作りを/両審査会の公平性は担保されているかなど。

そのほか、市長の責任、市民への説明、再発防止策の具体的な内容等の質疑がありました。



下北沢に完成した小田急線の線路跡地 (下北線路街)







清水 仁恵 (チャレンジ調布2)

市民の歯と口腔の健康づくり施策の充実を

健康づくり施策の充実を

問 歯と口腔の健康づくりについて①長期間に及ぶマスク生活は口腔内環境悪化へ。新型ウイルス感染拡大防止対策により施策の後退を懸念。取組の進展は②市基本構想・基本計画改定に際し、条例制定や単独計画策定を視野に検討に加えるべき課題。歯と口腔の分野を含む健康の水準向上について専門的に検討を。福祉部長 ①各世代に歯科健診や歯科・口腔に関する健康教育を実施。幼児期は4年度から新たに1歳児歯科教室を開始。市長 ②現在、次期総合計画の策定に取り組んでおり、専門的知見を有する方との意見交換等



狩野 明彦 (自由民主党)

モビリティに関する

問 モビリティの次世代の移動の概念であるMaasを実現するため、国は重要な施策として位置づけ、地域限定で展開。現状と課題を踏まえた上で市民生活、特に福祉分野、地域経済や観光振興、環境面からグリーンスローモビリティ、超小型モビリティ、ミニカー等の公用車での活用を含めた見解を問う。市長 市総合交通計画策定から10年が経過する中、交通環境の改善や、AI等の新技術の適用環境負荷軽減の取組が求められており、新たな市民ニーズに対応する計画改定に向けた取組を進めている。今後、国や都の動

向や実証実験の結果等を注視。都整部長 Maas普及により交通混雑解消や交通弱者対策など様々な問題解決への効果が期待される。次世代の移動手段の一つとして公用での実証実験事例も確認。交通施策における位置づけを調査・研究していく。問 立川市の実証実験でGPS搭載の電動キックボードは、ネットワークで接続制御することで特定エリアでの最大速度制限走行可能エリア外での自動停止等が可能。交通ルールのテストも行われ、管理者や行政との情報共有で、モビリティ政策をよりよい方向へ導くことができる。



小学校における歯みがき指導

問 学校での刷掃指導が困難と聞くが、現状と課題は。また、校舎新築や増築に際しては、歯磨き推進モデル校指定を視野に水道蛇口増設などの設計を。教育部長 2・3年度は学校での飛沫を伴うブラッシング指導は行わず家庭で学習。4年度は歯科衛生士が各校で模型や動画を使用した指導を予定。水道蛇口増設は校舎増築の際に学級数や児童数を考慮し、整備を検討。



立川市の電動キックボードの駐車ポート表示

4年6月末にも調布市、三鷹市、武蔵野市で実証実験の認可がおりる電動キックボードについて市の見解を問う。都整部長 回遊性の向上や観光振興等、地域活性化の面でも期待されるものと認識。一方で、普及には市民の理解を得ながら交通ルールの明確化等、検討すべき課題も多い。国や都、近隣市における実証実験の動向を引き続き注視していく。

令和3年度 政務活動費 収支報告

3年度の政務活動費について、その収支を報告します。収支報告書及び収支内訳などは市HPで公開しています。

会派別政務活動費収支報告 (3年4月～4年3月分)

(単位:円)

Table with 7 columns: Party Name, Income, and various Expense Categories (Investigation, Research, etc.). Rows include Challenging Tachikawa 21, Liberal Democratic Party, Komei Party, Japanese Communist Party, Next Generation Tachikawa, and Liberal Democratic Party Governance Party.

Table with 4 columns: Party Name, Income, and various Expense Categories. Rows include Rikusei Forum, Life Network, and Nippon Kaishin Kaigi.

※1 自由民主党は、3年7月9日に会派結成したため、交付は3年8月分からとなります。
※2 立憲フォーラムは3年5月25日に社会民主党から会派名を変更しています。

【政務活動費とは】

政務活動費は、議員の調査研究その他の活動に資するため、議員1人当たり月額25,000円が会派ごとに所属議員数に応じて交付されています。政務活動費として支出するためには、用途を明確にし、必ず領収書またはこれに代わる書類を添付しなければなりません。また、翌年4月30日までに各会派が収支報告書を作成し、残額がある場合は市へ返還することになっています。



現地調査の様子 (調布飛行場防災等会議室)

6月13日に開催し、初めに、調布飛行場等の概要及び調布飛行場の諸課題解決に向けた取組について、理事者から報告を受けた後、調布飛行場の現地調査を行いました。
現地調査では、事前に提出した14項目を含む質問事項について、都の担当者から回答を受け、審査を行いました。
委員からの主な質疑・意見は次のとおりです。
小型航空機墜落事故に関する裁判結果への都の受け止め/自家用機分散移転が進まないことに対する都知事の認識/空港管理者として都が自ら飛行ルートを確認することの必要性/飛行情報の見える化に関する課題と今後の展望などの都の認識を問う意見があったほか、GPS機器等を活用した飛行ルートの把握や都知事からの事故に関する申意表明/都の外部監査への調布飛行場周辺地元3市の参加を求めることなどの意見がありました。
最後に、今回の委員会での意見などを踏まえて、改めて、今後の都との協議に当たることを理事者に要請しました。

調布飛行場等対策 特別委員会の 審査状況

● 「年」及び「年度」については「令和」を表記していません。



# 案件に対する議員の態度

## 【各会派の名称と人数】

チ…チャレンジ調布 21 (6人) 自民…自由民主党 (6人) 公…公明党 (5人)  
 共…日本共産党 (4人) 次…次世代・調布 (2人) 自創…自由民主党創政会 (1人)  
 立…立憲フォーラム (1人) 生…生活者ネットワーク (1人) 維…日本維新の会 (1人)

## 第 2 回定例会

市長提出議案第45号から第47号、第49号、第50号は6月2日、その他の案件は6月17日に議決しました。  
 陳情第68号は、委員会審査において採択、趣旨採択、不採択に意見が分かれ、いずれも過半数に達しないため結論を得ず審議未了となりました。  
 ※態度表内の「議」は議長で、採決には加わりません。

議案番号等	件名	結果	チ	チ	チ	チ	チ	チ	自	自	自	自	自	公	公	公	公	公	共	共	共	共	次	次	自	立	生	維
			井	清	川	西	丸	宮	狩	大	大	鈴	元	渡	平	小	須	橋	内	岸	雨	坂	武	阿	次	次	自	立

〈議員提出議案〉 ○…賛成 ×…反対

10	環境教育の推進及びカーボンニュートラル達成に向けた学校施設のZEB化のさらなる推進を求める意見書提出について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11	地方公共団体情報システムの標準化に向けての意見書提出について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○

〈請願・陳情〉 ○…採択 □…趣旨採択 ×…不採択 △…継続審査

陳55	調布駅前における分煙環境整備に関する陳情	継続審査	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	議	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
陳61	上石原3丁目バス停付近に横断歩道・信号設置など安全対策を求める陳情	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳62	バス会社各社への運行ダイヤの拡充を改めて要請することを求める陳情	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳63	都市整備部外環担当部署における条例違反の情報公開の運用を改めることを求める陳情	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	議	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	○	×	
陳64	情報公開請求書を3か月以上も受け付けられない情報公開条例違反の業務を改めることを求める陳情	趣旨採択	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	議	□	□	□	○	○	○	○	□	□	□	□	○	□	
陳65	電子メールは直ちに文書管理規定等に従って適正に管理・保存することを求める陳情	趣旨採択	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	議	□	□	□	○	○	○	○	□	□	□	□	○	□	
陳66	調布市情報公開審査会及び個人情報保護審査会において公正な審査を求める陳情	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	議	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	○	×	
陳67	調布市情報公開審査会委員として適任者を増やすことを求める陳情	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	議	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	□	×	
陳68	個人情報漏洩事件の真相解明のために電子メールの復元を求める陳情	審議未了																										
陳69	調布市道の消えかかった白色路面交通標識等を補修することを求める陳情	趣旨採択	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	議	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□

## 〈満場一致で承認・可決した市長提出議案〉

45	専決処分の承認について（調布市税賦課徴収条例の一部改正）	51	市道路線の廃止について
46	専決処分の承認について（調布市都市計画税賦課徴収条例の一部改正）	52	市道路線の一部廃止について
47	令和4年度調布市一般会計補正予算（第1号）	53	市道路線の一部廃止について
48	令和4年度調布市一般会計補正予算（第2号）	54	調布市立布田小学校校舎増築工事請負契約
49	調布市長等の給料の特例に関する条例	55	調布市立多摩川小学校校舎増築工事請負契約
50	調布市議会議員及び調布市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例	56	財産の取得について

## 〈市長報告〉

報 1	専決処分の報告について（庁用車の接触により物件に損害を与えた事故について、損害賠償額が決定したもの）
報 2	専決処分の報告について（消防用自動車に附属する消火用ホースの管理の瑕疵により人身及び物件に損害を与えた事故について、損害賠償額が決定したもの）
報 3	一般財団法人調布市市民サービス公社の経営状況について
報 4	公益財団法人調布市文化・コミュニティ振興財団の経営状況について
報 5	公益社団法人調布市体育協会の経営状況について
報 6	公益財団法人調布ゆうあい福祉公社の経営状況について
報 7	調布市土地開発公社の経営状況について
報 8	一般財団法人調布市武者小路実篤記念館の経営状況について
報 9	令和3年度調布市繰越明許費繰越計算書について（公共工事の前倒し発注による保育園設備改修事業費など及び令和3年度内未完了の橋りょう整備事業費などについて令和4年度に繰り越したもの）
報 10	令和3年度調布市下水道事業会計予算繰越計算書について（建設改良工事費や事故繰越額などについて、令和4年度に繰り越したもの）

市内でもマルシェドゥ調布や調布国際音楽祭などのイベントが開催され、少しずつ賑わいが戻ってきています。今定例会の補正予算ではコロナ禍で支援を必要としている子育て世帯や市民への支援を決定しました。引き続き議会として対応してまいります。（広報委員一同）

## 編集後記

第2回定例会の会議録は8月末頃に公開予定です。

市HPの会議録検索システムから本会議・委員会・全員協議会などの全文記録をご覧いただくことができます。一般質問や質疑・討論のほか、議案や陳情文書表なども掲載しています。

なお、本会議会議録の冊子は、市役所4階の公文書資料室及び各図書館に配架し、そのほかの会議録は公文書資料室に配架しています。

## 会議録検索システムを御利用ください

住所 調布市布田1-43-12  
 グレースメゾン谷中N602  
 ☎080-8059-17907  
 会派 自由民主党



令和4年6月26日の調布市議会議員補欠選挙において、佐藤克彦氏が当選しました。これにより、調布市議会議員は、定数である28人となりました。

また、佐藤議員は令和4年6月27日付で、厚生委員会・広報委員会の委員に選任されました。

## 佐藤 克彦氏 当選